

10 令和 3 年度 団体

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin
Reiwa 3nendo katsuyou-jisseki-houkokusyu
1Ono dantai-ga samazamana-jigyou-wa okonatta kirokudesu.

通年実施

はじめの一歩コース

■いわくらい部♪



■Mugi ストローライフ岩倉



■ミズベリング岩倉・五条川



ステップアップコース

■キミノセカイ～kids☆photo～
岩倉支部



■地域のしあわせを考える会



■ひだまり会



10の団体が行つた事業の記録集

活用実績報告集

下半期実施 10月～3月

イベントコース

■おむすび



■ふる・里ライブ実行委員会



令和 3 年

4月 1 日



令和 4 年

3月 31 日

令和 3 年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

1. 令和 3 年度の市民活動助成金制度の説明

通年実施：令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

(はじめの一歩コース)

2. 麦わらを使った「ストロー」作り 【Mugi ストローライフ岩倉】
3. 「五条川の水面を歩く」サップ体験に集う会 【ミズベリング岩倉・五条川】
4. お寺での音楽ライブ×縁日 2021 【いわくらい部♪】
5. 親子多文化学習支援事業 【AME 多文化学習支援の会】

(ステップアップコース)

6. いわくるくるネットワークを創ろう☆ 【地域のしあわせを考える会】
 7. 市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業 「ひだまりサロン」【ひだまり会】
 8. ミニ・いわくら 【キミノセカイ～kids☆photo～岩倉支部】
- (イベントコース)
9. たけたけ！バンブーキャンプ 【岩倉ボランティアサークル】

下半期実施：令和 3 年 10 月～令和 4 年 3 月

(はじめの一歩コース)

10. 子どもおむすび食堂事業 【おむすび】
- (イベントコース)
11. 蔵チャペルでクリスマスコンサート 【ふる・里ライブ実行委員会】
 12. 令和 4 年度からの市民活動助成金新制度の説明
 13. 令和 4 年度市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介
 14. 令和 5 年度市民活動助成金の応募から実績報告書提出までの流れ

市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働安全課市民協働グループ（市役所 6 階）

Tel : (0587) 38-5803

e-mail : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目 17 番地 市民プラザ内

Tel : (0587) 37-0257

e-mail : city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

令和 3 年度市民活動助成金制度の説明

岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する

「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ステップアップコース」のみ企画案発表会を行いました。

助成の種類及び助成額

《はじめの一歩コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

補助期間：1年 **補助金額：限度額5万円** **補助率：90%以内**

《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

補助期間：1年ごと **補助金額：限度額15万円**

補助率：1回目 70%以内

2回目 50%以内

3回目 30%以内

《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

補助期間：1年 **補助金額：限度額5万円** **補助率：50%以内**

※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。

※ 令和4年度より市民活動助成金制度が全面リニューアルしました。
コース内容などの新様式の案内は、12ページに掲載されています。

麦わらを使った「ストロー」作り



事業総額 126,692 円 対象経費 88,241 円 助成額 50,000 円

- ・主に消耗品費、印刷製本費、備品購入費として利用

◆目的

- ・休耕田に麦を栽培することにより農地保全が行われる。
- ・麦の茎を使用したストローを作り、プラスチックゴミ削減を行うことで環境保護につなげる。

◆事業報告

【内容】

- ・令和2年11月種まき、令和3年1月麦踏み、5月刈取り、5~7月麦わらストロー製作
- ・令和3年6月・7月 個別のイベントで麦わらストロー作り体験会
- ・令和3年10月 市民プラザウィーク出展、「お寺での音楽ライブ×縁日 2021」に参加
- ・令和3年10月 種まき、令和4年1月麦踏み
- ・令和3年11月、令和4年2月 個別イベントで麦わらストロー配布
- ・令和4年2月1日 愛知県SDGs登録制度にMugi ストローライフ岩倉が認定される

【成果】

- ・初めての活動において、麦わらストローを作ることができ、配布も行うことができたので、成功である。今後も事業を拡大して継続していく。
- ・麦の穂を使用して、麦わら雑貨を作ることができた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・麦の穂やストローに適しない麦の茎の利用方法
- ・麦わらストローの普及方法

【改善等】

- ・各種飲食店にモニターとして使って頂くことにより、麦わらストローの認知度拡大および普及に努める。



「五条川の水面を歩く」サップ体験に集う会



事業総額 51,618円 対象経費 51,618円 助成額 34,000円

- ・主に備品購入費として利用

◆目的

- ・五条川の水面を利用した「五条川でサップ」が岩倉市民、市民以外の方々に認知されるように。
- ・五条川下流部の観光資源としての価値を創造、「かわまちづくり」の一環として観光事業に。

◆事業報告

【内容】

- ・令和3年8月28日 川井町江崎地先（五条川）9：00～12：00 参加人数 13名
- ・ナゴヤ SUP 推進協議会の指導により、五条川水面を利用したサップ体験を実施した。
- ・大成功、天候に恵まれた楽しい催しであった。
- ・愛知川の会・いわくら観光振興会の視察が有り今後にも期待。
- ・次の開催に期待できる内容であった。

【成果】

- ・参加者全てが初心者であったが、全ての参加者が STAND UP（ボード上で立って漕ぐ）ができ、皆さんが楽しんで体験会を行えた。
- ・五条川の良さについて参加者一同から、「素晴らしい河川である、もっと遊びに使いたい」等の声を頂き、我々の目指す五条川「かわまちづくり」の一助となった。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・当初募集した参加希望者が、諸事の都合で5名辞退者が出て追加募集することになった。
- ・コロナ緊急事態宣言下での行事であり、実施することの判断、実行に当たり密になる状況を回避するための徹底等の検討が必要となった。

【改善等】

- ・市民の方々が参加しやすい体験会を催すため、次回実施する場合は、今回の参加者に SUP の楽しさ、安全性、五条川の素晴らしさを PR してもらい、参加希望を募ることが重要と考える。

お寺での音楽ライブ×縁日 2021



事業総額 82,202 円 対象経費 82,202 円 助成額 50,000 円

- ・主に消耗品費、備品購入費、印刷製本費として利用

◆目的

- ・近年縁日が開かれなくなりお寺離れが進んでいる。地域の居場所として、お寺を音楽演奏や手作り作品販売の場に。自己実現ができ生きがいを持って豊かな暮らしができる人を増やす。

◆事業報告

【内容】

- ・令和3年10月10日 10:00~14:30 長遠寺・元児童遊園
コロナ対策を入念に行った。来場者 約300名・メンバー 4名・ボランティア 約26名
- ・縁日：手作り品、花苗、障害者施設のクッキー、仏画、着物リメイク雑貨等の販売ブース
- ・音楽ライブ：アマ、セミプロ、プロのミュージシャンによるライブや司会を担当
- ・本部設営管理、記念品配布、募金活動、案内係をボランティアで(岩総高校生徒も参加)担当

【成果】

- ・緊急事態も明け感染が落ち着いた時期に開催できた。
- ・関わった多くの人が、人とのやり取りを楽しむイベントを満喫していた。
- ・人が集うことで様々なつながりが広がり、関わった人それぞれが今後の活動につながった。
- ・“うちわ”は、またたく間に配布完了した。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・夢さくら公園で開催できなかったこと（5月開催予定が10月に、夢さくら公園の縁日会場が元児童遊園に変更）。元児童遊園は電源が無く、ライブが縁日会場で開催できなかった。
- ・元児童遊園が縁日会場へ変更になったため駐車場が確保できず、有料駐車場へ案内した。

【改善等】

- ・夢さくら公園でアマチュアミュージシャンライブと縁日を開催する。
- ・ウィズコロナに向けて類似イベント開催時の開催方法などを情報収集し対策に生かす。
- ・近隣商業施設の駐車場の確保と駐車場管理ボランティアを増員する。

親子多文化学習支援事業



事業総額 77,465円 対象経費 77,465円 助成額 50,000円

- ・主に講師料、会場使用料、教科書代として利用

◆目的

- ・外国人のために日本のルール・制度・文化や習慣を学んで日本での生活がしやすくなるようにする。
- ・トラブルでお困りの方や子育てで悩んでいる親のサポートをして、親子の絆を深めていく。

◆事業報告

【内容】

- ・ミニイベント 10/23・12/18 市民プラザ 親子で遊び・絵本の読み聞かせ
- ・ミニイベント 11/14・3/13 生涯学習センター ソーシャルスキル・発達について
- ・年間で 18回 市民プラザで勉強会を行った。
- ・外部講師や教育の専門家を招き、小中学校で学ぶ教科を母国語（ポルトガル語）で説明し、子どもたちの勉強をサポートした。

【成果】

- ・子どもたちが日本に慣れ、だんだん日本の文化に興味を持つようになった。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・仕事の役割分担がうまくできなかった。

【改善等】

- ・同じ気持ちと目的を持っている人を見つけて一緒に事業を進める。

いわくるくるネットワークを創ろう☆



事業総額 140,542 円 対象経費 140,542 円 助成額 89,000 円

- ・主に謝礼、印刷製本費、備品購入費として利用

◆目的

- ・信頼できる情報を簡単に入手でき、安心して交流やコミュニケーションをとれる環境をつくる。
- ・自分とは違う文化や世代の人に対しての理解や思いやりを持てる人が増え、安心安全な町に。

◆事業報告

【内容】

- ・色々な世代が関われ、興味のない情報を知れるネットワークを色々な形で継続的に創っている。
- ・「町内会について考える」 講習会を開催 4回 参加者のべ 58名
期間：7/25・9/18・11/21・2/5、 場所:市民プラザ・生涯学習センター・中本町区
- ・古代小麦プロジェクト 11/14 種まき 8名、 2/27 麦踏み 5名 場所:川井町
- ・ミーティングとホームページ作り 10回 参加者のべ 45名 場所:市民プラザほか

【成果】

- ・新聞店が岩倉関連の記事を投稿し、イベント・口コミなど様々な投稿が増えた。
- ・グループの投稿を見て新聞取材が入った。町内会ワークショップの若い世代の参加者が地元の親睦会に加入したり、役を快く引き受けたりした。
- ・子育て世代の交流やチャレンジも活発になり、コミュニティが生まれている。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・記録や資料作成をアナログでしていること。事業説明を簡単、上手にできず、難しく感じた。
- ・毎日フェイスブックに投稿したりシェアして、見てもらえるようにしている。
- ・新しい団体や個人事業主、青年会議所など、より多様なつながりを作る。

【改善等】

- ・パソコンが使える等スキルアップして活動量を増やしたり、“読めば分かるパンフレット”を作成し配布する。
- ・紹介による多様なつながりを増やし、フェイスブックやワークショップに参加してもらう。

市民の健康づくりと憩いの場を提供する事業 「ひだまりサロン」



事業総額 71,000円 対象経費 40,148円 助成額 15,000円

- ・主に講師料、消耗品費として利用

◆目的

- ・一人暮らしの高齢者の生活相談や市の事業等の紹介をして、個人の生きがいにつなげる活動。
- ・暮らす人が住みやすいと感じるため、福祉、医療、介護等の話し合いが持てる場所になる。

◆事業報告

【内容】

- ・健康ヨガ 年間5回 火曜日開催 第3児童館 13:00～15:00 参加者 7人程度
- ・定例会 毎週水曜日

【成果】

- ・健康ヨガは身体をほぐし、その機能を高めることにつながり、交流してコミュニケーションを深め、心身共に健康になっている。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・コロナ禍で会場が使えない、充分に活動を行えなかった。
- ・感染予防に注意し、その都度、消毒液、除菌シート、マスクを用意した。

【改善等】

- ・参加者が定着してきたが、コロナ禍の中でも工夫して行えるよう考えていきたい。

ミニ・いわくら



事業総額 546,618円 対象経費 398,618円 助成額 116,000円

- ・主に借上料、備品購入費、食糧費として利用

◆目的

- ・当事者の子ども・若者が意見を反映できるように、大人が主導するのではなく、あくまで子どもが主体となり、子どもの社会参画のあり方を、大人も共に学ぶこと。

◆事業報告

【内容】

- ・打ち合わせ・実行委員会（計5回）コロナへの対応を検討、参加者募集チラシ、特別講演「まちづくりについて」、店舗マニュアル・看板・求人票・市民票・仮想通貨など考え作成した。
- ・3月20日(日)・21日(月) ミニいわくら開催 いわくら大地の里の家 のべ169名
- ・3月26日(土) 反省会、保護者向けアンケート 回答40件

【成果】

- ・子どもたちが主体的に取り組み「まちづくり」をすることができた。
- ・3回目の開催で事業を理解できている子が多く、様々なことにチャレンジしていた。（銀行やハローワーク、清掃局の給料を上げ、ゴミの分別も劇的に良くなり、まちは清潔に。）
- ・小学生1日目72名・2日目97名（子ども実行委員含む）大人ボランティア募集は中止。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・常に感染対策や延期・中止するか？という判断をしながら、準備を進めた。
- ・「飲食ができないのは嫌だ」が子どもたちの意見だった為、子どもたちの力を信じて屋外で開催したが、準備が大変だった。

【改善等】

- ・昨年より、子どもたちの体験の場、遊び場は失われ深刻な状況です。
- ・マスク着用や感染対策について、昨年よりさらに「排除」する考え方方が進んでいた。
- ・多様性を認め合うために、どうしていったらいいか、子どもたちと考えて、進めた。



たけたけ！バンブーキャンプ



事業総額 85,825 円 対象経費 85,825 円 助成額 30,000 円

- ・主に食糧費、郵送代、印刷製本費として利用

◆目的

- ・岩倉の身近な自然である竹林公園の象徴「竹」を活用したプログラムを実施したい。
- ・自然を大切にする心、関わり方を身に付けさせ、無限大の可能性を与えること。

◆事業報告

【内容】

- ・令和3年 11月 7日 青少年宿泊研修施設「希望の家」 9:30～19:00 参加者 35 名
- ・テーマ：身近な自然の「竹」を使って、自然の大切さや面白さを学ぶ。
- ・内容：班別レクリエーション、紙芝居「バンブー物語」、たけたけ！Let's 工作、野外炊事

- ・令和 4 年 3 月 23 日 反省会

【成果】

- ・自然を感じてもらい、触れ合ってもらうべく「竹」という岩倉の自然を中心に企画した。
- ・バンブー物語では参加者は我々から一方的に教わるだけでなく、班の仲間と自然に関する知識の交換が見られ、初対面なのにあっという間に仲良くなつて協力し合えていて協調性がみられた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・このイベントのビジョンに合ったテーマをいかに実現できるかを工夫した。
- ・コロナの為、開催日を変更し感染対策を行った上で、予定より規模拡大して開催した。
- ・参加人数が増え手空き状態が増えた。怪我予防に食器を配布したが、手作りの環境を整えたかった。

【改善等】

- ・学年によって役割が決められており、同じ活動しかできなかつたという声があつた。
- ・子どもたちが様々な体験ができるよう、班のカウンセラーがさらに配慮できる体制を整える。
- ・安全に体験活動を行えるよう、環境改善、危険予想を把握した上で対策を作り未然に防ぐ。



◆ おむすび

子どもおむすび食堂事業

なつやす ちゅう まいしゅう か ど まみすい じーみあゆみ
夏休み中は毎週火・土やってます

岩倉市内でこども食堂の活動が行われているのをご存知でしょうか？
夏休み期間中は毎週2回、毎週火・土曜日に食事を用意してあります。
子どもは0円 大人は300円。
おひとり、ご家族、友だち同士、お気軽にご参加ください。



事業総額 96,893円 対象経費 96,893円 助成額 50,000円

- ・主に食糧費、雑貨、借上料として利用

◆目的

- ・子どもの小さな声を拾い、自主性をはぐくみ、自分で選べる作れる、食事提供・応援。
- ・子どもだけで来られるオープンな場づくり、様子の気になる子どもへの声かけ・見守り。

◆事業報告

【内容】

- ・子ども食堂 みんなの居場所として
- ・いわくら大地の里の家 10月～3月 毎週火曜日 16:30～19:00 22回開催 のべ800人程度が参加
- ・子どもと大人の学びの場 3月 講師：松浦峰子 生理のお話

【成果】

- ・小学生だけで来る子ども、赤ちゃんづれ、年配の方、多世代の方に利用いただけている。
- ・子ども達は学区や年齢を超えて交流が深まっている様子。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・参加人数が多くなると、調理や片付けに手が回らないことがあるが、手伝える範囲で子ども達や参加者に手伝ってもらった。
- ・マイ箸持参を呼びかけお互いに無理のない事業作りに。

【改善等】

- ・今後もみんなで育む子ども食堂として、互助の意識をもちながら事業を継続していくなら。
- ・子どもの見守りの意識をもう少し高めたい。



◆ ふる・里ライブ実行委員会

蔵チャペルでクリスマスコンサート



事業総額 193,616円 対象経費 142,111円 助成額 50,000円

- ・主に謝礼、備品購入費、会場使用料として利用

◆目的

- ・岩倉市を原点とする音楽家が集結し身近で良質な音楽提供を目指す。
- ・障がい者や高齢者に音楽に触れる機会を拡充する。

◆事業報告

【内容】

- ・令和3年12月11日(土) 桜インマヌエルチャーチ
1回目 13:00～14:00 2回目 16:00～17:00
箏、クラリネット、ゴスペル、ピアノによる演奏会

観客 30名×2回(招待 5名)
出演者 4名・受付 1名

【成果】

- ・会場が小さいため演奏者の息づかいなどを間近に感じられ、ライブ演奏の良さを、普段聞く機会のない市民や高齢者に伝えることができた。
- ・演奏会終了後「楽しいコンサートだった、次回も来たい」という声が、たくさん寄せられた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・異色楽器アンサンブルのため、楽器や歌の特徴が伝わるプログラムにし、独自性をアピール。
- ・演奏会の質を保ちながら開催することは、経費がかかるため、資金をどうするか。
- ・福祉法人に障がい者の演奏会招待を申し出たが、コロナを理由に誰も参加がなかった。

【改善等】

- ・音楽に対する市民の興味と理解をもってもらう。
- ・会場と開催時間と入場料金を適正にする。

令和4年度からの市民活動助成金の新制度の説明

主な改正ポイント

- ・3コースから4コースになり、コース内容も見直しました。
- ・応募条件に、市民活動支援センター登録団体であることが加わりました（一部コースを除く）。
- ・市内に拠点のある法人格を有する事業者も応募できるコースができました。
- ・さらに今後は、複数の主体が協働するマルチパートナーシップの取組を促進します。
- ・下の②,③,④のコースは「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。①については省略されます。

助成の種類及び助成額

① 《立ち上がり支援コース》

新たに立ち上げた公益性を有する団体、設立から1年以内の団体の活動の基盤づくりに助成します。

助成回数：1団体1回 補助金額：限度額2万円 補助率：50%以内

② 《はじめの一歩コース》

設立から3年以内の助成対象団体が行う公益性を有する事業（3年以上継続予定）に助成します。

助成回数：1団体1回 補助金額：限度額5万円 補助率：90%以内

③ 《市民提案・公益的事業コース》

団体が解決を目指す地域の公共的課題について、自らテーマを設定し提案する公益性を有する事業に助成します。

**助成回数：同一事業 最大3回 補助金額：限度額10万円
補助率：50%以内**

④ 《行政提案・協働事業コース》

行政があらかじめ設定した（行政課題）テーマに対して、団体が自らの特性を生かして提案する行政と協働で取り組む事業に助成します。

**助成回数：同一事業 連続2回 補助金額：限度額30万円
補助率：100%以内**

- ※ 他の団体と協働して行う場合には、②,③コースの補助率を10%加算します。
- ※ 令和4年度の助成団体は、13ページに掲載されています。
- ※ 令和5年度の募集に関しては、令和4年11月中旬に公表する予定です。
- ◆ 立ち上がり支援コースは、令和4年10月～令和5年3月までに実施する事業を、7月に追加で募集する予定です。

令和4年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

コース	番号	団体名	事業名	内 容
はじめの一歩	1	メディカルサポートあざりあ	医療福祉分野の有資格者による安心して住み続けられる町づくりに貢献するボランティア事業	市民団体として救護所支援とイベント巡回を実施して市民の安全・安心をサポートする。(参加予定イベント:桜まつり、市民体育祭、市民ふれ愛まつりなど) また、消防署が主催する「応急手当普及員」の資格を団体メンバーで取得して支援活動に活かす。
はじめの一歩	2	ナチュラルすまいる@いわくら	食育を通して地域貢献	食育や食の安全などをテーマにミニ講座を月1回開き、参加者で話し合いをして市民の意識を高める。また、調理などで実践する。
市民提案・公益的事業 1/3	3	プロジェクトスペース「hazi」事務局	いわくらしやすいまちのアート系プロジェクトスペース「hazi」にて、地域社会と文化芸術の関わりづくりプロジェクト「スタートからいちばん近いゴール(仮)」の実施	駅近の空き家を改装した拠点にて、県内外で活動する若手アーティストを招聘し、滞在制作や展覧会、アートイベント等を行う。現代アートや文化芸術に対して理解を深める土壤を育み、アーティストの視点から岩倉を見直し地域社会の魅力を再認識する機会をつくる。
市民提案・公益的事業 1/3	4	Mugiストローライフ岩倉	麦わらを使った「ストロー」作り	プラスチックストローの代替品となる「麦わらを使ったストロー」を作ることにより、プラスチックゴミ削減による環境保全活動を行う。麦を刈る作業及び麦ストロー作り体験のイベントを開催する。活動過程をSNSに掲載したり、広報掲載にて市民への関心を高める。
市民提案・公益的事業 1/3	5	いわくらい部♪	寺おん×縁日2022	だれもがふらりと立ち寄れるお寺を舞台に、2つのイベントを開催する。 ①「夢さくら公園」にてフリマ & マルシェとして「夢さくら縁日」を開催 ②公園隣接「長遠寺」にて音楽ライブとして「寺おん♪」開催ステージのリアルタイム配信も行う。
市民提案・公益的事業 1/3	6	おむすび	子ども応援事業	毎週火曜日に子どもおむすび食堂を実施する。子どもたちの楽しい経験を増やすべくイベントを開催する。また、子どもと大人の学び場として勉強会を実施する。
市民提案・公益的事業 1/3	7	岩倉ボランティアサークル	冬のたこたこ！つるつる！キャンプ	日本独自の文化である冬場の凧揚げや、うどん作りという「和」を取り入れたものを子どもたちが主体となって作成・体験し、人と触れ合うことの楽しさを思い出し、日本の伝統文化に触れるきっかけを創り出す。
市民提案・公益的事業 2/3	8	地域のしあわせを考える会	いわくるくるネットワークを創ろう☆	市民に役立つ情報を、誰でも入手できるような、SNSを介したネットワークを作る。 Facebookの運営と、団体のパンフレット作り、古代小麦の作業やワークショップを開催する。
行政提案・協働事業 1/2	9	いわくらにほんごクラス	外国人向け「はじめての日本語教室」の実施	日本語がほとんど話せない外国人を対象に、初期レベルの日本語教育を対話型学習にて実施する。
行政提案・協働事業 1/2	10	HLSふれあい塾	デジタル教室の開催	デジタルに不慣れな市民に対し、スマートフォンやタブレットを利用して、生活に必要な情報収集やオンライン手続きができるようにするため、地域で講習会を実施する。
行政提案・協働事業 1/2	11	一般社団法人 はーとプロジェクト (おりーぶおりーぶ岩倉)	ひきこもりを対象としたサロンの実施	不登校など様々な事情でひきこもる子ども等が相談できる場をつくる。 子ども等が利用しやすいイベントを組んだり、保護者向けの研修会等を実施する。

令和 5 年度市民活動助成金の 応募から実績報告書提出までの流れ

《通年実施事業》

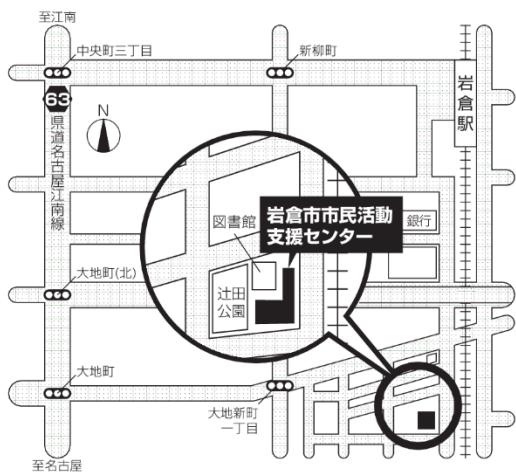
令和 4 年 11 月中旬	: 市民活動助成金説明会 & 個別相談会
12 月上旬	: 申請書類受付 開始
12 月下旬	: 申請書類受付 締切
令和 5 年 2 月中旬	: 企画提案発表会
3 月下旬	: 内定通知
4 月上旬	: 決定通知
4 月～	: 助成金事業開始
事業終了後 30 日以内	: 実績報告書の提出

《下半期実施事業》

令和 5 年 7 月	: 立ち上がり支援コース追加募集予定
7 月上旬	: 市民活動助成金説明会 & 個別相談会
7 月中旬	: 申請書類受付 開始
7 月下旬	: 申請書類受付 締切
9 月上旬	: 決定通知
10 月～	: 助成金事業開始
事業終了後 30 日以内	: 実績報告書の提出



岩倉市市民活動支援センター



- 住 所／〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX／(0587)37-0257
- 開館時間／9:00-21:30
- 休館日／年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

岩倉市市民活動支援センター で検索してください

メールマガジン登録はコチラから iwakura_ad@lww.ne.jp

facebook 岩倉市市民活動支援センター

Instagram [iwakura_csc](#)

twitter [@iwakuraCSC](#)

LINE [@ysw7371u](#)

